

J A 御中  
(営農担当部署)

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)  
(公 印 省 略)

**営農情報 6**

**大豆の今後の管理作業について**

本年の大豆（フクユタカ）は、断続的な降雨により播種適期の 7 月 20 日まで  
に全体の 41% の播種が終了しましたが、前年同期の 92% を下回っています。  
今後は、以下の点に留意した生産管理をお願いいたします。

**は種が完了したほ場**

【中耕・培土の実施】・・・根系の発達と地上部の生育を促し、雑草防除にも有効！

- ・中耕・培土は本葉が 2～3 葉期から 5～6 葉期までに  
2 回、株元に土が十分寄るように実施。

**高収量者のワザ**  
1 回目：中耕ローター正転＋培土板を付けて実施  
2 回目：中耕ローター逆転で深く土寄せ



図 土寄せの良い例、悪い例

【冠水した場合、播き直しの判断目安】・・・健全株が 7 割以下と見込まれる場合

- ・播種後出芽までに長時間冠水した場合、出芽の可能性が低い。また、冠水により株  
に泥が付着したままの場合、枯死する危険性が高い。

【梅雨明け後の乾燥対策】・・・開花期～莢伸長・子実肥大期には適度な土壌水分が必要！

- ・本暗きよの栓を閉じて土壌水分の維持に努める。
- ・かん水が可能なほ場は、うね間かん水を適切に実施する。
- ・中耕前 10 日間が少雨で土壌が乾燥した場合は、中耕を控える。

**今後、は種するほ場**

- ・土壌水分が適度になったら早急に播く。
- ・生育量を確保するため 7 月中旬播きより播種量を増やす（右表参照）。
- ・基肥を窒素成分で 2 kg/10a 施用する。  
(基肥の施用が出来ない場合は、  
中耕・培土の際に追肥を行う)
- ・「狭畦栽培」（下図参照）を検討する。

表 時期別のは種量（目安）

播種期	7 月 11～20 日	7 月 21～31 日	8 月 1～5 日
条間 (cm)	7 0	6 0～7 0	5 0～6 0
株間 (cm)	2 0～1 5	1 5～1 0	1 5～1 0
播種量 (kg/10a)	4～5	6～8	7～9
1 条 1 m の目標 出芽本数	1 4～1 8	2 0～2 5	2 5～3 0

**狭畦栽培の概要**

- ・うね幅：150cm
- ・条間と条数：50cm、3 条
- ・株間：15cm
- ・中耕・培土はディスク式中耕除草機を用いて実施する。

図 狭畦栽培のうね形状  
\* 下方向の矢印は中耕培土を実施する箇所を示す。